

「歴史から学ぶ」とは何か —ナチス・ドイツと現在の日本—

日時

7月11日(土)
午後1時30分～4時
(開場：午後1時)

講演：午後1時半～3時
(休憩)

質疑：午後3時15分～4時

講演者

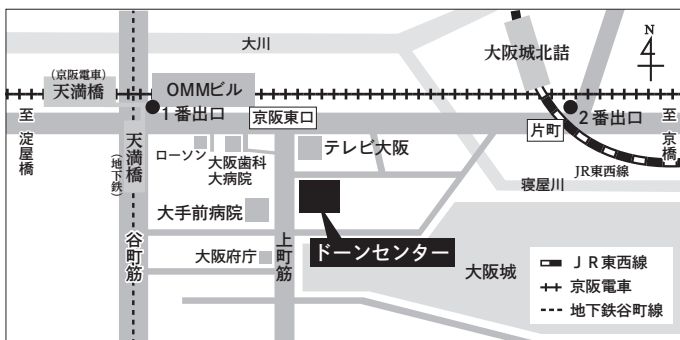
大阪大学大学院国際公共政策研究科准教授

木戸 衛一氏



ところ

ドーンセンター 大会議室3 (4階)



京阪「天満橋」駅下車。
東口方面の改札から地下通路を歩いて1番出口より東へ約350m。
地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。

「歴史から学ぶ」——今こそ、この言葉が真の意味で役割を果たさなければならぬ時ではないでしょうか。

ナチスの台頭から第2次世界大戦へと突き進んだドイツ。「過去の克服」の優等生と称されながら、ユーゴ空爆・アフガン派兵を行っているドイツ。「戦後70年」を迎え、「集団的自衛権」の行使実現に執念を燃やす安倍政権の日本と、どこが異なり、どこが似ているのでしょうか。

ドイツ現代政治・平和研究を専門とされる木戸衛一氏に、5月ドイツ訪問の最新情報も加え、講演をお願いしました。

主催 **耕文社** <http://www.kobunsha.co.jp>

問合せ先 TEL.06-6933-5001 FAX.06-6933-5002

メール info@kobunsha.co.jp